

小金井市施設ごみゼロ化行動実施計画

計 画 年 度	令和5年度	部 会 名	市立学校ごみゼロ化行動推進部会
部 会 長 名	(職名) 学校教育部学務課長		(氏名) 本木 直明
対象とする施設名称	市立小中学校		
廃棄物の減量目標	令和3年度実績から(14,280)kgの減量		
資源化率の目標	資源化の目標90%		
計画年度における取組			
<p>1 令和3年度廃棄物減量目標</p> <p>(1) 廃棄物の減量目標 5%削減 令和3年度(実績) (285,607)kg → (271,327)kg を目標とする。</p> <p>(2) 廃棄物の資源化率の目標 90%</p> <p>2 ごみゼロ化実施計画目標を達成するための具体的取り組み</p> <p>(1) 紙類排出ごみの減量について</p> <p style="margin-left: 20px;">ア 紙の分別を徹底する。</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 校務用パソコンの活用により紙類の出力を抑え、極力使用しない方策を進める。</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 使用済みの紙・ミスプリント紙の再利用を徹底する。</p> <p>(2) その他</p> <p style="margin-left: 20px;">ア エコリサイクルについて授業をとおして児童・生徒に啓発、意識を高める。</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 各教室、職員室からでるごみをできる限り細部に分別する。</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 食育指導、給食指導をとおして残渣を減らす。</p> <p style="margin-left: 20px;">エ 生ごみ処理機の投入にあたっては水切りを行い投入する。学校給食の調理業務委託業者にはこの旨協力を依頼する。</p> <p>3 目標を推進する職員の心構え</p> <p>先進的な取り組みをしている学校もあるが、より一層の減量を推進するため、ごみ減量について校内で協議をし、教職員一人一人が自覚をもって減量に取り組む。</p>			